

タイトル…千葉観光課 15 鴨川シーワールド

○登場人物

・田宮（20代） 千葉県の外国人向けの観光課に働く青年。受け身な性格でよく物事を頼まれる体質。だが、突飛な閃きを思い付くと意気揚々とする。

・ボブ（30代） 観光課のアドバイザーとして雇われた米国人。明快な性格で何事にも乗り気。田宮と仲良く絡む。「面白ければそれでよし！」を信条にしている。

・その他（外人達）

【シーン15 千葉県観光課のオフィス】

（オフィスの環境音が聞こえる。紙をめくる音や、キーボードのタイピング音が微かに聞こえる。ドアが開き、足音が近づく）

ボブ…

(元気よく) おはよう、タミヤ！今日は新しいアイデアを思いついたかい？

田宮…

(疲れた声で) おはようございます、ボブさん。いやあ、また無茶なこと言われて…今度は鴨川シーワールドの客を増やせって。

ボブ…

(少し驚いて) 鴨川シーワールドか！素晴らしいじゃないか。水族館ってのはどこも似たようなものだから、何か目立つことをしないとね。

田宮…

(ため息をついて) そうなんですよ。でも、そんな簡単にアイデアなんて出ませんよ…。

ボブ…

(ひらめきの音とともに) そうだ！タミヤ、

展示されてる魚介類やショーを見る以外にも  
インパクトが欲しいと思わないか？

田宮…

（考え込む音）確かに…ただのイルカショー  
じゃ、今の外国人観光客は満足しないかもし  
れませんね。

ボブ…

（ワクワクしながら）例えば、スタッフが魚  
のコスプレをして、お客さんを案内するって  
のはどうだい？

田宮…

（驚いた声で）えっ？スタッフが魚のコスプレ  
レ…ですか？

ボブ…

（熱意を込めて）そうだ！もっとマニアック  
な魚介類のコスプレだ！普通の魚じゃなくて、

見たこともないような変わった魚だよ！

田宮…

（明るい声で）それ、面白いかもしれません  
ね！やってみましょう！

【シーン 2: 鴨川シーワールド内】

（水族館の BGM や、遠くから聞こえる水の音。  
お客さんのざわめきが聞こえる）

田宮…

（興奮気味に）すごい！これで絶対に注目を  
集めますよ！

ボブ…

（満足げに）見てみる、タミヤ。外国人観光  
客が続々と集まってきてる！

（外国人観光客たちが興味津々でコスプレス  
タッフたちに話しかけたり、写真を撮ったり

する音)

外国人観光客 1:

(驚いた声で) ワオ! このカニのコスプレ、リアルすぎるよ!

外国人観光客 2:

(ウキウキした声で) このウミウシって、こんなにカラフルなんだ! 初めて見た!

外国人観光客 3:

(楽しそうに) このスタッフたちは何でも知ってるね! 質問したらすぐに答えてくれる!

田宮:

(感心して) ボブさん、この作戦は大成功です  
すね!

ボブ:

(誇らしげに) ほらね、「面白ければそれでよし！」 だろ？

【シーン ☹️ 千葉県観光課のオフィス】

(オフィスの環境音が戻る。椅子が引かれる音が聞こえる)

田宮 ..

(疲れた声で) 今日は疲れましたが、やりがいがありましたね。鴨川シーワールドの評判も上がったし、客足も増えました。

ボブ ..

(微笑みながら) タミヤ、君のアイデアがあつてこそだよ。次はどこを攻める？

田宮 ..

(困ったように笑いながら) それは…また無茶なこと言われたら考えますよ。

ボブ..

(大笑いして) その時はまた一緒に考えよう！きつと面白いことができるさ！

田宮..

(微笑んで) そうですね、ボブさんとなら、どんな無茶でも楽しくなりそうです。

ナレーション..

(しみじみと) こうして田宮とボブの奇妙なアイデアは、鴨川シーワールドの新たな魅力を引き出し、観光客の心を掴んだ。二人の冒険はまだまだ続く…。

終わり